

2017年6月27日

改良を加えたシネマ DSP HD<sup>3</sup>、YPAO プレジジョン EQ などの  
最新機能を搭載したハイクラス AV レシーバー3 機種が新登場

## AVENTAGE

### ヤマハ AV レシーバー

#### 『RX-A3070』 『RX-A2070』 『RX-A1070』

ヤマハ株式会社は、Dolby Atmos<sup>®</sup>&DTS:X<sup>™</sup>の3次元サラウンドフォーマット、HDR<sup>\*3</sup>/4K映像伝送に対応し、「シネマDSP HD<sup>3</sup>(エイチディ キュービック)」と3次元サラウンドフォーマットとの掛け合わせ再生やプレジジョンEQ採用の「YPAO」など、セパレートAVプリアンプ「CX-A5100」譲りの高機能を全機種に盛り込んだ、ハイクラスAVレシーバー「AVENTAGE」の第7世代モデルとして、11.2chプリアウト対応9.2chモデル『RX-A3070』、9.2chモデル『RX-A2070』を7月下旬より、7.1chモデル『RX-A1070』を7月中旬より全国で発売いたします。

\*1: Dolby Atmos<sup>®</sup>(ドルビーアトモス) = ドルビーラボラトリーズ社が開発した3次元サラウンドフォーマット。

\*2: DTS:X<sup>™</sup>(ディーティーエス エックス) = DTS社が開発した3次元サラウンドフォーマット。

\*3: HDR(ハイダイナミックレンジ)映像伝送 = 従来より幅広い明暗のダイナミックレンジを持つ映像信号の伝送を可能にする技術。

## AVENTAGE

AVENTAGEは、音・臨場感・操作性の色褪せない本質を追求するヤマハのハイクラスAVコンポーネントシリーズです。いつまでも飽きの来ないナチュラルな音質と優れた操作性、独創のシネマDSP技術に裏付けられた圧倒的な臨場感を、ヤマハのクラフトマンシップによって実現しています。

### <価格と発売時期>

品名	モデル名	色	本体価格	当初月産予定台数	発売時期
AVレシーバー	RX-A3070	(H)チタン、(B)ブラック	270,000円(税抜)	3,300台	7月下旬
AVレシーバー	RX-A2070	(H)チタン	200,000円(税抜)	3,500台	7月下旬
AVレシーバー	RX-A1070	(H)チタン、(B)ブラック	140,000円(税抜)	4,000台	7月中旬

### <製品の概要>

今回発売する『RX-A3070』『RX-A2070』『RX-A1070』は、ハイクラスAVレシーバー「AVENTAGE」〈アベンタージュ〉の第7世代モデルです。ヤマハ独自の3次元立体音場創生の最高峰「シネマDSP HD<sup>3</sup>(エイチディ キュービック)」と3次元サラウンドフォーマット=Dolby Atmos<sup>®</sup>&DTS:X<sup>™</sup>との掛け合わせ再生や映画系新プログラム「Enhanced」を含む24種類のシネマDSP音場プログラム、プレジジョンEQ採用の高精度「YPAO(Yamaha Parametric Room Acoustic Optimizer)」など、フラッグシップAVプリアンプ「CX-A5100」譲りの高機能を全機種に盛り込むとともに、Dolby Vision<sup>™\*1</sup>やHybrid Log-Gamma<sup>\*2</sup>などのHDR映像伝送が可能なHDMI端子、高音質ネットワークオーディオ(DSD 5.6MHzダイレクト、AIFF/WAV/FLAC 192kHz/24bit、Apple Lossless 96kHz/24bit対応)も全機種に装備しました。さらに11.2chプリアウト対応の最上級9.2chモデル『RX-A3070』には、最新世代のフラッグシップであるSABRE PRO DAC「ES9026PRO」を含む2基のESS社製D/Aコンバーター<sup>\*3</sup>を投入することで、微小信号のより忠実な再現性を実現しています。

\*1: Dolby Vision<sup>™</sup>(ドルビービジョン) = ドルビーラボラトリーズ社が開発したHDR技術。ファームウェア更新により対応予定。

\*2: Hybrid Log-Gamma(ハイブリッドログガンマ) = NHKと英国BBCが共同提案する放送向けHDR方式。ファームウェア更新により対応予定。

\*3: 『RX-A3070』は「ES9026PRO」と「SABRE9006AS」を各1基、『RX-A2070』は「SABRE9006AS」を2基、『RX-A1070』は「SABRE9006AS」を1基搭載。

## 【RX-A3070 主な特長】

### 1. 臨場感

- ・Dolby Atmos® & DTS:X™ 対応デコーダーを搭載
- ・シネマ DSP HD³ と Dolby Atmos® & DTS:X™ との掛け合わせ再生を実現
- ・「Enhanced」プログラムに加えて、新たにエンターテインメント系の 5 プログラムにも新 4 音場処理アルゴリズムを採用
- ・より明確な視聴環境改善効果をもたらすプレジジョン EQ 採用の高精度「YPAO」

### 2. 高音質

- ・最新世代のフラッグシップ D/A コンバーター「ES9026PRO」を採用
- ・独自の機構設計ノウハウを集約したダブルボトム構造の制振・高剛性シャーシ
- ・ディスクリート 9ch パワーアンプ、4 回路分離パワーサプライなど AVENTAGE 最高基準の高音質設計

### 3. 映像関連

- ・HDR (HDR10、Dolby Vision™\*、Hybrid Log-Gamma\*) 伝送、BT.2020 伝送、HDCP2.2、4K/60p パススルー & 4K アップスケーリングに対応した HDMI 端子

\* フォームウェア更新により対応予定

### 4. ネットワークオーディオ機能

- ・DSD 5.6MHz ダイレクト、AIFF/WAV/FLAC 192kHz/24bit、Apple Lossless 96kHz/24bit 再生をサポート
- ・家庭内ネットワークへ無線 LAN 経由で接続できる Wi-Fi 機能を内蔵

### 5. ユーティリティ機能

- ・スマートフォンなどからの音声をワイヤレス再生でき、また本機の音声を外部機器で再生可能な Bluetooth®オーディオ送受信機能を搭載
- ・聴き慣れたオーディオソースに新たな魅力を与える「ハイレゾリューション・ミュージックエンハンサー」

### 6. 家中で音楽を楽しむマルチルーム・マルチゾーン機能

- ・聴く楽しさを家中に広げる「MusicCast®」、話題の Spotify を快適に楽しめる「Spotify Connect」に対応
- ・別室で映画の続きを観たり、お好みのオーディオソースが聴ける HDMI 対応アドバンスドゾーンスイッチング

### 7. 5 年間の長期製品保証



RX-A3070

## <RX-A3070 主な特長>

### 1. 臨場感



#### ●Dolby Atmos® & DTS:X™ 対応デコーダーを搭載

Dolby Atmos® (ドルビーアトモス)とDTS:X™、ふたつの3次元サラウンドフォーマットに対応したサラウンドデコーダーを搭載しました。個々の音を、頭上を含めた室内のどの位置にも定位または移動させ、3次元的な音響空間を自在に創り上げるのできるこの技術への対応により、最新映画で話題のリアルな包囲感や移動感を家庭のシアタールームで楽しめます。『RX-A3070』は5.2.2ch、5.2.4ch、7.2.2ch、7.2.4ch\*の4種類のスピーカー構成に対応し、またプレゼンスピーカーの設置位置は、フロントスピーカー上方壁に設置する「フロントハイト」、天井に設置する「オーバーヘッド」、「ドルビーイネーブルドスピーカー」の3パターンから選択できます。

\*:7.2.4ch再生を行うには2ch分の外部パワーアンプが必要です。



「フロントハイト」設定画面例



「オーバーヘッド」設定画面例



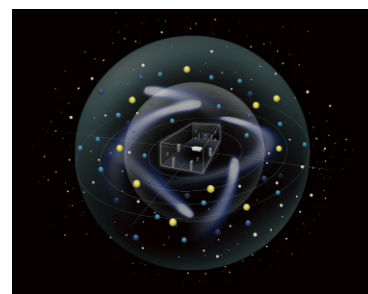
「ドルビーイネーブルドSP」設定画面例

#### ●シネマDSP HD<sup>3</sup>とDolby Atmos® & DTS:X™との掛け合わせ再生を実現

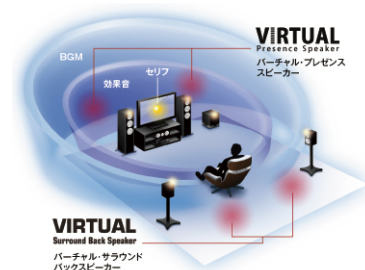
フロント/リアプレゼンスピーカーを含む最大11.2chスピーカー構成と、通常のシネマDSPを大きく上回る情報密度を駆使して、高さ方向を含む空間情報の完全再現を目指す3次元立体音場創生の最高峰であるシネマDSP HD<sup>3</sup>(エイチディキュービック)。そのシネマDSP HD<sup>3</sup>サラウンドプログラムと、3次元サラウンドフォーマット(Dolby Atmos®およびDTS:X™)との掛け合わせ再生を、高い情報処理能力を持つ3基のヤマハオリジナルDSPデバイスの投入により実現しました。搭載サラウンドプログラムは昨年、シネマDSP30周年を機に開発した映画系新プログラム「Enhanced」を含む計24種類で、3次元サラウンドを含む新旧さまざまなコンテンツに最適な音場を多彩なプログラムの中から選択できます。さらに、既設のサラウンドスピーカーを利用して仮想のサラウンドバックスピーカーを生成するバーチャル・サラウンドバックスピーカー機能や、仮想のプレゼンスピーカーを空間上に生成するバーチャル・プレゼンスピーカー機能/バーチャル・リアプレゼンスピーカー機能\*も装備しています。

\*:Dolby Atmos®およびDTS:X™信号はバーチャル再生されません。また、バーチャル・リアプレゼンスピーカー機能はフロントプレゼンスピーカー接続時に限り有効です。

CINEMADSP HD<sup>3</sup>  
DIGITAL



シネマDSP HD<sup>3</sup>音場概念図



#### ●「Enhanced」プログラムに加えて、新たにエンターテインメント系の5プログラムにも新4音場処理アルゴリズムを採用

リア(サラウンド)側だけでなくフロント(プレゼンス)側の音場処理も左右独立化し、フロント方向の左右セパレーションを際立たせた新4音場処理アルゴリズムを、映画系新プログラム「Enhanced」に加えてエンターテインメント系シネマDSPプログラム\*5種類にも採用しました。これにより、セリフやヴォーカルなどの定位感を保ちながら音場の広がりや効果音の移動感を向上させ、ゲームや音楽ライブ、スポーツ中継に最適な、より広大で躍動的な空間表現を可能にしています。

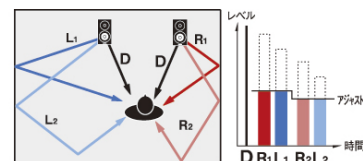
\*:新4音場処理アルゴリズムはエンターテインメント系の「Sports」「Music Video」「Recital/Opera」「Action Game」「Roleplaying Game」、および映画系の「Enhanced」に採用。

## ●より明確な視聴環境改善効果をもたらすプレジジョン EQ 採用の高精度「YPAO」

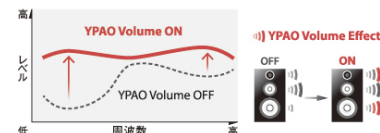
64bit 演算によりイコライジング処理を高精度化したプレジジョン EQ など、フラッグシップ AV プリアンプ「CX-A5100」で得た開発成果の一部を盛り込むことで音の品位をさらに高めた視聴環境最適化システム「YPAO」(Yamaha Parametric Room Acoustic Optimizer)を搭載しました。お使いになる部屋固有の初期反射音を積極的に制御して視聴環境を最適化する「YPAO-R.S.C.\*」、その計測結果に基づいて再生時の周波数特性が音量に応じて聴感上フラットになるようにコントロールする「YPAO Volume」、設置した各スピーカーの距離と方角、プレゼンススピーカーの高さを自動計測することで音場空間を立体的に補正する「YPAO 3D 測定」を含む総合的な測定・補正プロセスによって、ハイトスピーカーの位置や仕様、室内環境によってサラウンド効果が影響を受けやすい3次元サラウンド再生の課題を克服。64bit 処理ならではの圧倒的なサウンドクオリティがそれぞれの補正能力を驚くほど自然に、しかも明確に引き出し、音の質的变化をほとんど感じさせることのない視聴環境改善効果をもたらします。

\* :R.S.C.= Reflected Sound Control

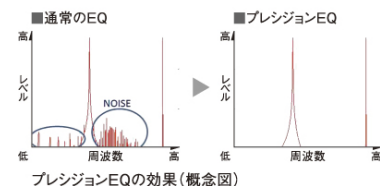
YPAO



「YPAO-R.S.C.」の動作イメージ(概念図)



「YPAO Volume」の効果(概念図)



プレジジョンEQの効果(概念図)

## 2. 高音質

### ●最新世代のフラッグシップ D/A コンバーター「ES9026PRO」を採用

D/A コンバーターには、さらなる高ダイナミックレンジと低歪率を追求した最新世代の ESS 社製フラッグシップ D/A コンバーター「ES9026PRO」を、同じく ESS 社製の「SABRE9006AS」とのコンビネーションで採用しました。ローム社との共同開発による高精度電子ボリューム、ルビコン社とのコラボレーションで専用に音質調整されたオリジナル PML(薄膜高分子積層)コンデンサーなどを駆使した入念な音質チューニングとも相まって、微小信号のより忠実な再現性を実現しています。

### ●独自の機構設計ノウハウを集約したダブルボトム構造の制振・高剛性シャーシ

これまでヤマハが培ってきた機構設計のノウハウを集約し、理想の機械的強度と重量バランスを発揮する左右対称コンストラクション、H 型クロスフレーム、リジッドボトムフレームにダブルボトム構造を組み合わせた本機専用の制振・高剛性シャーシを採用しました。AVENTAGE AV レシーバーの特長のひとつ、アンチレゾナンステクノロジー(Anti Resonance Technology)思想に基づく〈5 番目の脚〉と特製メタルレッグ(〈5 番目の脚〉を除く4脚)が、設置安定性を高めて筐体の共振を分散するとともに電源トランスの微細な振動をも抑制し、力強くフォーカスの合ったサウンドを再現します。

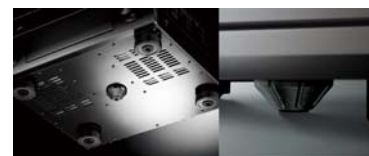
### ●ディスクリット 9ch パワーアンプ、4 回路分離パワーサプライなど

#### AVENTAGE 最高基準の高音質設計

左右対称レイアウトのフルディスクリット構成 9ch ハイパワーアンプ、オーディオ入力部と D/A コンバーター部との電位差を解消して微小信号の再生品位を高める D.O.P.G. (DAC on Pure Ground) コンセプトなど、AVENTAGE 最高基準の高音質設計を採用しました。パワーサプライ部はオーディオ回路用、デジタル回路用、アナログ映像回路用、FL ディスプレイ回路用をそれぞれ独立させてステージ間の相互干渉を防ぐ 4 回路分離型としています。給電経路を最短化してローインピーダンス化を徹底するとともに、音質に影響を与える磁場効果も給電レイアウトの工夫によりキャンセルすることで、音の瞬発力とリアリティをより向上させました。



最新世代のESS社製フラッグシップD/Aコンバーター「ES9026PRO」



アンチレゾナンステクノロジー思想に基づく〈5番目の脚〉





### 3. 映像関連

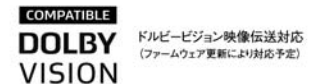
#### ●HDR(HDR10、Dolby Vision™、Hybrid Log-Gamma)伝送、BT.2020伝送、HDCP2.2、4K/60pパススルー & 4Kアップスケーリングに対応したHDMI端子

最新の著作権保護技術 HDCP2.2、Ultra HD Blu-ray 規格に規定された HDR (HDR10)映像伝送や BT.2020 規格、4K/60p 4:4:4 映像信号のパススルー/4Kアップスケーリングに対応した 8 入力/2 出力の HDMI 端子\*1を装備しました。さらに、幅広いダイナミックレンジにより、華やかな色彩や豊かなディテールを再現する「Dolby Vision™(ドルビービジョン)\*2」や、放送局が推奨する HDR 方式「Hybrid Log-Gamma(ハイブリッドログガンマ)\*2」の伝送にも対応します。また、テレビと本機とを 1 本の HDMI ケーブルで接続し、テレビ側の音声を本機経由で再生できるオーディオリターンチャンネル(ARC)、他社製テレビ/レコーダーとのリンク機能\*3を利用することで、設置や操作がより簡単に行えます。

\*1:HDCP2.2およびYCbCr4:2:0以外の4K/60p映像信号に対応したHDMI端子は前面入力1系統を除く7入力/2出力です。

\*2:ファームウェア更新により対応予定。

\*3:HDMIによるリンク機能(HDMIコントロール)は、本機~対応テレビ(レコーダー)間をHDMI接続した場合に実現するものです。対応テレビ機種などの詳細は当社製品サイトでご確認ください。[http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/connect/hdmi\\_cec/](http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/connect/hdmi_cec/)



### 4. ネットワークオーディオ機能

#### ●DSD 5.6MHzダイレクト、AIFF/WAV/FLAC 192kHz/24bit、Apple Lossless 96kHz/24bit再生をサポート

ジッターノイズの発生を大幅に低減してハイレゾ音源特有のデリケートな音の違いも忠実に描き分けるヤマハオリジナル・ネットワークモジュールを搭載したネットワークオーディオ部は、DSD 5.6MHzダイレクト再生、AIFF/WAV/FLAC 192kHz/24bit再生、Apple Lossless 96kHz/24bit再生をサポートします。ネットワーク上の音楽コンテンツを再生する際に気になる曲間の音の途切れを解消するギャップレス再生にも対応しています(DSDを除く)。

#### ●家庭内ネットワークへ無線LAN経由で接続できるWi-Fi機能を内蔵

家庭内ネットワークへ無線LAN経由で接続できるWi-Fi機能を内蔵し、ハイレゾ音源を含むネットワーク上の音楽コンテンツやインターネットラジオの再生、「AV CONTROLLER」アプリでのワイヤレス操作を実現しました。さらに、端末内の音楽コンテンツのワイヤレス再生や、「AV CONTROLLER」での操作などが無線LAN環境のない場所で手軽に行える「Wireless Direct」も内蔵しています。

※無線LANと有線LANとの同時接続はできません。Wi-Fiまたは有線LAN接続とWireless Direct接続との同時使用はできません。無線LANで接続できる距離は環境に依存します。



内蔵Wi-Fi機能の使用例  
(家庭内ネットワークにワイヤレス接続)

## 5. ユーティリティ機能

### ●スマートフォンなどからの音声をワイヤレス再生でき、また本機の音声を

#### 外部機器で再生可能な Bluetooth®オーディオ送受信機能を搭載

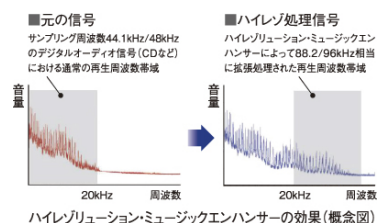
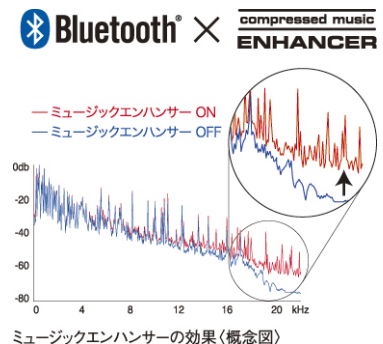
スマートフォンやタブレットなど、お手持ちの Bluetooth®対応機器の音声を本機でワイヤレス再生(受信)したり、本機の音声\*を Bluetooth®対応ヘッドホンやスピーカーなどで聴ける(送信)、Bluetooth®オーディオ送受信機能を搭載しました。本機の Bluetooth®機能(受信)は高音質の AAC フォーマットに対応し、さらに高音域の情報量や低音域の明瞭度が失われがちな圧縮音声を効果的に補正(右図参照)する Bluetooth®対応ミュージックエンハンサーと組み合わせることで、より奥行きのあるクリアな音質を実現しています。なおミュージックエンハンサーは Bluetooth®だけでなく、FM/AM ラジオ放送などのアナログ音源や 5.1ch デジタルテレビ放送などのマルチチャンネル音源にも対応しています。

\*: AirPlay および DSD 音声の送信、ならびに本機で Bluetooth®受信した音声の再送信はできません。

### ●聴き慣れたオーディオソースに新たな魅力を与える

#### 「ハイレゾリューション・ミュージックエンハンサー」

非圧縮(CD、WAV、AIFF)および可逆圧縮(FLAC、Apple Lossless)音声を最大 96kHz/24bit 分解能まで拡張処理するハイレゾリューション・ミュージックエンハンサーを搭載しました。よりナチュラルな音質改善効果を目指した独自のアルゴリズムにより、CD などの聴き慣れたオーディオソースに新たな魅力を与えます。このハイレゾリューション・ミュージックエンハンサーは 2ch ステレオ音源専用です。



## 6. 家中で音楽を楽しむマルチルーム・マルチゾーン機能

### ●聴く楽しさを家中に広げる「MusicCast®」、話題の Spotify を快適に楽しめる「Spotify Connect」に対応

家庭内に設置した複数の MusicCast 対応音響機器の操作や、対応機器間での音楽コンテンツの共有などがひとつのアプリで行えるヤマハ独自の機能「MusicCast®」(ミュージックキャスト)に対応しました。専用の「MusicCast CONTROLLER」アプリをお手持ちのスマートフォン/タブレットにインストールすれば、MusicCast 対応機器\*1と本機との間で音楽コンテンツの配信・共有・リンク(同期)再生を簡単に行うことができるほか、ストリーミング音楽配信サービス「Spotify」をより快適に楽しめる「Spotify Connect (スポティファイコネクト)\*2」や、IP サイマルラジオ配信サービス「radiko.jp」のエリアフリー聴取などが楽しめる「radiko.jp プレミアム\*3」にも対応します。加えて、本機の電源をオンにすると、本機とリンクしたすべての MusicCast 対応機器の電源が連動してオンになり、アプリを立ち上げなくても共通のコンテンツを複数の場所で同時に聴くことができるトリガー再生機能も装備しています。

\*1: 対応機器などの詳細は当社製品サイトでご確認ください。

[http://jp.yamaha.com/products/technology/musiccast\\_\\_j/](http://jp.yamaha.com/products/technology/musiccast__j/)

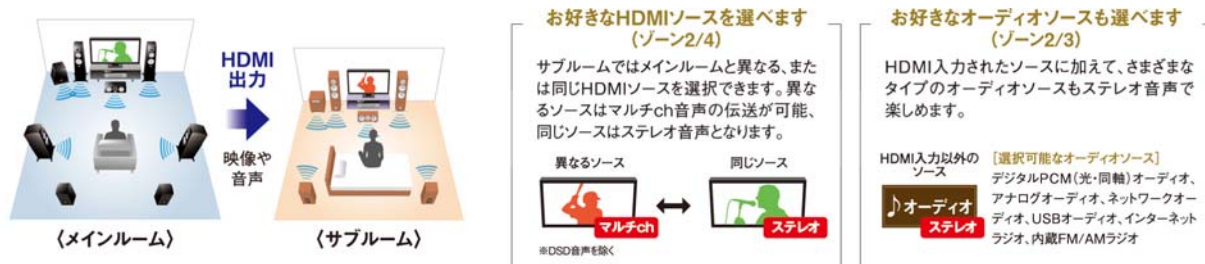
\*2: Spotify Connect の使用には Spotify アプリ(無料)のインストールと Spotify Premium アカウント(有料)への登録が必要です。

\*3: radiko.jp プレミアム(エリアフリー聴取)の使用にはプレミアム会員(有料)への登録が必要です。



## ●別室で映画の続きを観たり、好みのオーディオソースが聴ける HDMI 対応アドバンスドゾーンスイッチング

メインルームと同じ、または別のソースを選んで別室の HDMI 対応テレビやホームシアターに HDMI 伝送したり、HDMI 入力以外のオーディオソース(デジタル/アナログ音声、ネットワーク音声、FM/AM ラジオ)を別室に伝送できるアドバンスドゾーンスイッチングを装備しました。各ゾーンの切り換えは本体またはリモコンのボタンのほか、専用アプリ「AV CONTROLLER」でも操作できます。さらにゾーン 2/3 については、メインゾーンで聴いているソースと同じものを常に再生する「メインゾーンシンク」入力に対応し、サブルーム側で入力切り替え操作をすることなくルーム間でのコンテンツ共有が可能なほか、ゾーン 2 で再生している音声を別の MusicCast 対応機器でリンク再生できる「ゾーン 2 リンクマスター\*」機能にも新たに対応しています。



\*:「ゾーン 2 リンクマスター」機能はメインゾーンの電源がオフの状態でも使用できます。

## 7. 5 年間の長期製品保証

長期間にわたり安心してご愛用いただけるよう、お買い上げ日より 5 年間のメーカー製品保証\*を標準で付与しています。

\*:「RX-A770」を除く AVENTAGE AV レシーバー全機種に適用。「RX-A770」のメーカー製品保証は 1 年間です。

## 【RX-A2070 主な特長】

- ・Dolby Atmos® & DTS:X™ 対応デコーダーを搭載
- ・シネマ DSP HD³ と Dolby Atmos® & DTS:X™ との掛け合わせ再生を実現
- ・新 4 音場処理アルゴリズムを採用した「Enhanced」、およびエンターテインメント系 5 プログラムを新搭載
- ・より明確な視聴環境改善効果をもたらすプレジジョン EQ 採用の高精度「YPAO」
- ・ESS 社製「SABRE9006AS」を 2 基搭載し、音の静寂性と微小信号の再現性を追求した D/A コンバーター部
- ・独自の機構設計ノウハウを集約した制振・高剛性シャーシ\*
  - \*: 左右対称コンストラクション、H 型クロスフレーム、リジッドボトムフレーム、(5 番目の脚)などを採用。ダブルボトム構造は採用しておりません。
- ・新開発「アンチレゾナンスレグ」などによる音質チューニングを実施
- ・ディスクリット 9ch パワーアンプ、4 回路分離パワーサプライなど AVENTAGE 基準の高音質設計
- ・HDR\*、BT.2020、HDCP2.2、4K/60p パススルー & 4K アップスケーリングに対応した HDMI 端子
  - \*: ファームウェア更新により Dolby Vision™ および Hybrid Log-Gamma にも対応予定。
- ・高精度ロージッタークロック内蔵のヤマハオリジナル・ネットワークモジュール
- ・DSD 5.6MHz ダイレクト再生、AIFF/WAV/FLAC 192kHz/24bit、Apple Lossless 96kHz/24bit 再生をサポート
- ・家庭内ネットワークへ無線 LAN 経由で接続できる Wi-Fi 機能を内蔵
- ・スマートフォンなどからの音声をワイヤレス再生でき、また本機の音声を外部機器で再生可能な Bluetooth®オーディオ送受信機能を搭載
- ・聴き慣れたオーディオソースに新たな魅力を与える「ハイレゾリューション・ミュージックエンハンサー」
- ・聴く楽しさを家中に広げる「MusicCast®」、話題の Spotify を快適に楽しめる「Spotify Connect」に対応
- ・別室で映画の続きを観たり、好みのオーディオソースが聴ける HDMI 対応アドバンスドゾーンスイッチング
- ・5 年間の長期製品保証



新開発アンチレゾナンスレグ

## 【RX-A1070 主な特長】

- ・Dolby Atmos® & DTS:X™ 対応デコーダーを搭載
- ・シネマ DSP HD³ と Dolby Atmos® & DTS:X™ との掛け合わせ再生を実現
- ・新 4 音場処理アルゴリズムを採用した「Enhanced」、およびエンターテイメント系 5 プログラムを新搭載
- ・より明確な視聴環境改善効果をもたらすプレジジョン EQ 採用の高精度「YPAO」
- ・ESS 社製「SABRE9006AS」を搭載し、音の静寂性と微小信号の再現性を追求した D/A コンバーター部
- ・独自の機構設計ノウハウを集約した制振・高剛性シャーシ\*  
\* : 左右対称コンストラクション、H 型クロスフレーム、リジッドボトムフレーム、〈5 番目の脚〉などを採用。  
ダブルボトム構造は採用しておりません。
- ・新開発「アンチレゾナンスレグ」などによる音質チューニングを実施
- ・ディスクリート 7ch パワーアンプ、4 回路分離パワーサプライなど AVENTAGE 基準の高音質設計
- ・HDR\*、BT.2020、HDCP2.2、4K/60p パススルー & 4K アップスケーリングに対応した HDMI 端子  
\* : ファームウェア更新により Dolby Vision™ および Hybrid Log-Gamma にも対応予定。
- ・高精度ロージッタークロック内蔵のヤマハオリジナル・ネットワークモジュール
- ・DSD 5.6MHz ダイレクト再生、AIFF/WAV/FLAC 192kHz/24bit、Apple Lossless 96kHz/24bit 再生をサポート
- ・家庭内ネットワークへ無線 LAN 経由で接続できる Wi-Fi 機能を内蔵
- ・スマートフォンなどからの音声をワイヤレス再生でき、また本機の音声を外部機器で再生可能な Bluetooth® オーディオ送受信機能を搭載
- ・聴き慣れたオーディオソースに新たな魅力を与える「ハイレゾリューション・ミュージックエンハンサー」
- ・聴く楽しさを家中に広げる「MusicCast®」、話題の Spotify を快適に楽しめる「Spotify Connect」に対応
- ・別室で映画の続きを観たり、お好みのオーディオソースが聴ける HDMI 対応アドバンスドゾーンスイッチング
- ・5 年間の長期製品保証



新開発アンチレゾナンスレグ

**【RX-A3070/A2070/A1070 その他の特長・機能】** ●FM 補完放送も受信できる 40 局プリセット対応ワイド FM/AM チューナー ●お気に入りのインターネットラジオ局をストレスなく呼び出せるブックマーク&オートプレイ ●コンパクトスピーカーの音に重低音の力感や躍動感をプラスする Extra Bass ●フロントバイアンプ駆動とフロントプレゼンススピーカーを併用できるパワーアンプアサイン (RX-A3070/A2070) ●本機側で音量調節が可能なゾーン 2 プリアウト ●聴取ゾーンごとに音質をカスタマイズできるゾーン Extra Bass とゾーン Volume EQ ●再生音量に応じて DSP 効果を自動調整し、常に最適な臨場感が得られる A-DSP 技術 ●入力ソースやボリューム位置に合わせてダイナミックレンジを自動調整し、小音量再生時にも明瞭なサウンドが楽しめる A-DRC 技術 ●お手持ちのヘッドホンでサラウンド再生が楽しめるサイレントシネマ ●音声信号経路を最短化して入力ソースの音をありのままに再現するピュアダイレクトモード ●HDMI コントロール/スタンバイスルーオフ、ネットワークスタンバイオフ時の待機時消費電力 0.1W の省電力設計 ●一定時間使用しないと自動的に電源がオフになり、電源の切り忘れを防止するオートスタンバイ (20 分、2/4/8/12 時間に設定可能) ●MM カートリッジ対応フォノ入力 ●HD フォント&アイコンによる GUI 画面を採用した多言語対応 OSD (オンスクリーン・ディスプレイ) ●WPS (プッシュボタン/PIN コード) または iOS 設定共有により無線 LAN を簡単設定

## 【先行視聴会について】

『RX-A3070』の発売に先立ち、来る 7 月 22 日 (土) に東京会場で先行視聴会を開催いたします。

詳細や応募については、下記ウェブサイトでご確認下さい。

<https://member.jp.yamaha.com/public/seminar/view/186>



## <RX-A3070/A2070/A1070 機能比較>

型番		RX-A3070	RX-A2070	RX-A1070	
筐体	左右対称コンストラクション	○	○	○	
	アンチレゾナンステクノロジーによる(5番目の脚)	○	○	○	
	リジッドボトムフレーム	○	○	○	
	H型クロスフレーム	○	○	○	
	ダブルボトムコンストラクション	○	—	—	
	特製メタルレッグ	○	—	—	
	アンチレゾナンスレッグ	—	○	○	
オーディオ部	内蔵パワーアンプ ch 数	9	9	7	
	D.O.P.G.コンセプト	○	○	○	
	DSP デバイス	3基	3基	3基	
	DAC	ESS ES9026PRO×1、 SABRE9006AS×1	ESS SABRE9006AS×2	ESS SABRE9006AS×1	
	ブロックメモリ容量	18,000μF×2	12,000μF×2	9,800μF×2	
	ウルトラロージッターPLL回路	○	○	○	
	シネマ DSP HD <sup>3</sup>	HD <sup>3</sup>	HD <sup>3</sup>	HD <sup>3</sup>	
シネマ DSP	プログラム数	24	24	24	
	DolbyAtmos <sup>®</sup> /DTS:X <sup>™</sup> と シネマ DSP HD <sup>3</sup> の掛け合わせ再生	○	○	○	
	最大拡張 ch 数	11	9	7	
	VPS(バーチャル・プレゼンス スピーカー)	Front Presence	○(ダイアログリフトも可)	○(ダイアログリフトも可)	○(ダイアログリフトも可)
		Rear Presence	○	○	○
	VSBP(バーチャル・サラウンドバックスピーカー)	○	○	○	
	DSP エフェクトレベルノーマライズ	○	○	○	
YPAO	YPAO-R.S.C./プレジジョン EQ	○/○	○/○	○/○	
	YPAO Volume	○	○	○	
	マルチポイント計測(8地点)	○	○	○	
	YPAO 3D 測定	○	○	—	
音声関連	コンプレッドミュージックエンハンサー	○	○	○	
	ハイレゾリューションミュージックエンハンサー	○(up to 96/24, 2ch)	○(up to 96/24, 2ch)	○(up to 96/24, 2ch)	
	DSD ダイレクト再生	○	○	○	
	ジッター除去レベル調整機能	○	—	—	
ネットワーク機能	Wi-Fi/Wireless Direct	○/○	○/○	○/○	
	DLNA1.5 対応	○	○	○	
	対応音声フォーマット	DSD 5.6Mz, Apple Lossless、 MPEG4-AAC、 WAV/FLAC/AIFF 192kHz/24bit, MP3, WMA	DSD 5.6Mz, Apple Lossless、 MPEG4-AAC、 WAV/FLAC/AIFF 192kHz/24bit, MP3, WMA	DSD 5.6Mz, Apple Lossless、 MPEG4-AAC、 WAV/FLAC/AIFF 192kHz/24bit, MP3, WMA	
	ギャップレス再生	○	○	○	
	AirPlay/ミュージックプレイ	○/○	○/○	○/○	
	機器連携	○(MusicCast <sup>®</sup> 機能)	○(MusicCast <sup>®</sup> 機能)	○(MusicCast <sup>®</sup> 機能)	
	ストリーミングサービス	○ (インターネットラジオ、 Spotify Connect 対応、 radiko.jp プレミアム)	○ (インターネットラジオ、 Spotify Connect 対応、 radiko.jp プレミアム)	○ (インターネットラジオ、 Spotify Connect 対応、 radiko.jp プレミアム)	
	ウェブブラウザコントロール PC バックアップ	○ ○	○ ○	○ ○	
映像関連	HDMI パススルー	4K/60p 4:4:4, BT.2020、 HDR(HDR10, Dolby Vision <sup>™</sup> *, Hybrid Log-Gamma*) 伝送 *:ファームウェア更新により対応予定	4K/60p 4:4:4, BT.2020、 HDR(HDR10, Dolby Vision <sup>™</sup> *, Hybrid Log-Gamma*) 伝送 *:ファームウェア更新により対応予定	4K/60p 4:4:4, BT.2020、 HDR(HDR10, Dolby Vision <sup>™</sup> *, Hybrid Log-Gamma*) 伝送 *:ファームウェア更新により対応予定	
	4K アップスケーリング	○	○	○	
	アナログ to HDMI ビデオコンバージョン	○(4K Ultra HD 対応)	○(4K Ultra HD 対応)	○(4K Ultra HD 対応)	
	ディテール&エッジ強調 映像信号調整(コントラスト/輝度/色の濃さ)	○ ○	○ ○	— —	
ゾーン機能	オーディオ出力(ブリアウト)	○ZONE2, 3	○ZONE2, 3	○ZONE2	
	スピーカー出力	○ZONE2, 3	○ZONE2, 3	○ZONE2	
	HDMI 出力	○ZONE2, 4	○ZONE2, 4	○ZONE2	
	映像出力	○ZONE2, 4 (ZONE4 は HDMI 出力のみ)	○ZONE2, 4 (ZONE4 は HDMI 出力のみ)	○ZONE2	
シーン機能	SCENE PLUS	12 パターン	12 パターン	12 パターン	
	コンテンツ登録	○	○	○	
アプリ	AV CONTROLLER 対応	○	○	○	
	MusicCast CONTROLLER 対応	○	○	○	
チューナー	AM/FM(ワイド FM 対応)	AM/FM(ワイド FM 対応)	AM/FM(ワイド FM 対応)		
ECO モード	○	○	○		

## <RX-A3070/A2070/A1070 主な仕様>

型番		RX-A3070	RX-A2070	RX-A1070
定格出力	20Hz-20kHz、2ch 駆動	165W/ch(6Ω、0.06%THD)	150W/ch(6Ω、0.06%THD)	120W/ch(6Ω、0.06%THD)
	1kHz、1ch 駆動	200W/ch(6Ω、0.9%THD)	190W/ch(6Ω、0.9%THD)	140W/ch(6Ω、0.9%THD)
実用最大出力(JEITA)	1kHz、1ch 駆動	230W/ch(6Ω、10%THD)	220W/ch(6Ω、10%THD)	170W/ch(6Ω、10%THD)
内蔵パワーアンプ数		9	9	7
音声入力	アナログ	10 系統:RCA 9(前面入力 1、PHONO1 含む)、XLR バランス 1(1:アース、2: HOT、3:COLD)	9 系統:RCA 9(前面入力 1、PHONO1 含む)	
	デジタル	6 系統:光 3、同軸 3		
音声入力(その他)		3 系統:USB*1、ネットワーク 1(Ethernet)、ネットワーク 1(Wireless) * USB メモリー内ファイルの音声再生用。USB DAC としての機能はありません。		
映像入力		6 系統:コンポジット 4(前面入力 1)、コンポーネント 2		
音声出力	スピーカー	9ch(11 端子) フロント L/R、センター、サラウンド L/R、サラウンドバック L/R (EXTRA SP1)フロントプレゼンス/ZONE2/ZONE3/BI-AMP (EXTRA SP2)リアプレゼンス/フロントプレゼンス/ZONE2/ZONE3		7ch(9 端子) フロント L/R、センター、サラウンド L/R、 サラウンドバック L/R (EXTRA SP1)フロントプレゼンス/ ZONE2/BI-AMP (EXTRA SP2)サラウンドバック/ZONE2
	PRE OUT	11.2ch フロント L/R、センター、サラウンド L/R、サラウンドバック L/R、フロントプレ ゼンス L/R (ZONE2 と排他)、 リアプレゼンス L/R (ZONE3 と排他)、 サブウーファー OUT 2 (STEREO、フロ ント&リア、MONO×2)	7.2ch フロント L/R、センター、サラウンド L/R、サラウンドバック L/R、 サブウーファー OUT 2 (STEREO、フロント&リア、 MONO×2)	7.1ch フロント L/R、センター、サラウンド L/R、サラウンドバック L/R、 サブウーファー OUT 2 (MONO×2)
	ヘッドホン出力	1		
HDMI 入力		8(前面入力 1)、AV1~7 は HDCP2.2 に対応		
HDMI 出力		2(HDCP2.2 に対応、同時出力可、ZONE2/4 出力可)		2(HDCP2.2 に対応、 同時出力可、ZONE2 出力可)
HDMI バススルー		4K/60p 4:4:4、BT.2020、HDR(HDR10、Dolby Vision™*、Hybrid Log-Gamma*) 伝送 *:ファームウェア更新により対応予定		
HDMI その他		4K アップスケーリング対応、アップコンバージョン対応		
Bluetooth 再生方式	バージョン	Ver.2.1+EDR		
	対応プロファイル	A2DP/AVRCP		
	対応コーデック	受信時:SBC/AAC、送信時:SBC		
	対応コンテンツ保護	SCMS-T 方式		
	ワイヤレス出力	Bluetooth Class2		
	最大通信距離	10m(障害物のない見通し距離)		
消費電力		490W		400W
待機時 消費電力	HDMI コントロール OFF/ スタンバイスルー OFF 時	0.1W		
	HDMI コントロール ON/ スタンバイスルー ON 時	1.5W		
	ネットワークスタンバイ ON 時	Wired:1.8W/Wi-Fi:1.8W/Wireless Direct:1.9W		
	HDMI コントロール ON/ スタンバイスルー ON/ ネットワークスタンバイ ON 時	Wireless Direct:2.7W		
寸法(幅×高さ×奥行)		435W×192H×474D mm (Wi-Fi アンテナ直立時:435W×247H×474D mm)		435W×182H×439D mm (Wi-Fi アンテナ直立時: 435W×247H×439D mm)
質量		19.6kg	17.0kg	14.9kg
付属品		リモコン、単 4 乾電池(2 本)、 AM アンテナ、FM アンテナ、YPAO マイク、 YPAO 3D 測定用マイクベース/ボール、 電源コード(極太 OFC タイプ)、 取扱説明書、セットアップガイド	リモコン、単 4 乾電池(2 本)、 AM アンテナ、FM アンテナ、 YPAO マイク、YPAO 3D 測定用 マイクベース/ボール、電源コード、 取扱説明書、セットアップガイド	リモコン、単 4 乾電池(2 本)、 AM アンテナ、FM アンテナ、 YPAO マイク、電源コード、 取扱説明書、セットアップガイド

※文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。



ヤマハ AVレシーバー『RX-A3070』 カラー:(H)チタン/(B)ブラック  
 本体価格 270,000 円(税抜)



前面カバーオープン時



※RX-A3070 の画像データは下記ウェブサイトよりダウンロードできます。  
[http://jp.yamaha.com/news\\_release/](http://jp.yamaha.com/news_release/)

【製品情報】

ヤマハ AVレシーバー『RX-A3070』 [http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/av-amplifiers/rx-a3070\\_j/](http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/av-amplifiers/rx-a3070_j/)



ヤマハ AVレシーバー『RX-A2070』カラー:(H)チタン  
本体価格 200,000 円(税抜)



前面カバーオープン時



※RX-A2070 の画像データは下記ウェブサイトよりダウンロードできます。  
[http://jp.yamaha.com/news\\_release/](http://jp.yamaha.com/news_release/)

【製品情報】

ヤマハ AVレシーバー『RX-A2070』 [http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/av-amplifiers/rx-a2070\\_j/](http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/av-amplifiers/rx-a2070_j/)





ヤマハ AV レシーバー 『RX-A1070』 カラー:(H)チタン/(B)ブラック  
 本体価格 140,000 円(税抜)



前面カバーオープン時



※RX-A1070 の画像データは下記ウェブサイトよりダウンロードできます。  
[http://jp.yamaha.com/news\\_release/](http://jp.yamaha.com/news_release/)

【製品情報】

ヤマハ AVレシーバー 『RX-A1070』 [http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/av-amplifiers/rx-a1070\\_j/](http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/av-amplifiers/rx-a1070_j/)

この件に関するお問い合わせ先

## ヤマハ株式会社

■報道関係の方のお問い合わせ先

広報部 ブランド・商品広報グループ

佐藤、窪井、千葉

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-6605

FAX 03-5488-5063

ウェブサイト [https://www.yamaha.com/ja/news\\_release/](https://www.yamaha.com/ja/news_release/)

(取材申し込みや広報資料請求が可能です。)

■一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン カスタマーサポート部

お客様コミュニケーションセンター

オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

TEL 0570-011-808 (ナビダイヤル:全国どこからでも市内通話料金)

TEL 053-460-3409 (上記番号でつながらない場合)